

連結決算説明 2020年12月期第2四半期累計



Beyond 130

(株)クボタ 取締役副社長執行役員 企画本部長
吉川 正人

2020年8月7日 (金)



2020年12月期第2四半期累計連結決算概要

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2020年12月期 2Q累計	2019年12月期 2Q累計	増減	
			金額	%
売上高	8,842	9,708	▲ 867	▲ 8.9
国内	2,902	3,101	▲ 199	▲ 6.4
海外	5,940	6,607	▲ 668	▲ 10.1
営業利益	9.2% 817	11.4% 1,109	▲ 293	▲ 26.4
税引前利益	9.5% 844	11.8% 1,146	▲ 302	▲ 26.4
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	6.7% 596	8.4% 812	▲ 216	▲ 26.6

(億円)	2020年12月期 2Q末	2019年12月期 期末	増減	
			金額	%
資産合計	31,279	31,393	▲ 114	▲ 0.4
親会社の所有者に 帰属する持分	14,415	14,428	▲ 13	▲ 0.1

事業セグメント別売上高

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2020年12月期 2Q累計	2019年12月期 2Q累計	増減	
			金額	%
機械	7,190	8,008	▲ 818	▲ 10.2
国内	1,446	1,591	▲ 145	▲ 9.1
海外	5,744	6,417	▲ 673	▲ 10.5
水・環境	1,503	1,541	▲ 38	▲ 2.5
国内	1,309	1,353	▲ 44	▲ 3.3
海外	194	188	+ 6	+ 3.3
その他	148	159	▲ 10	▲ 6.4
国内	147	157	▲ 10	▲ 6.2
海外	2	2	▲ 0	▲ 21.6
売上高合計	8,842	9,708	▲ 867	▲ 8.9

国内売上高	2,902	3,101	▲ 199	▲ 6.4
海外売上高	5,940	6,607	▲ 668	▲ 10.1

為替の影響（▲180億円）を除くと、機械海外は▲8%の減。
海外売上全体は▲7%の減

*社内組織の変更に伴い、従来「機械部門」に含めていた「空調」を2020年12月期より「水・環境部門」に変更。
この変更に伴い2019年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。



機械 ▲818億円（国内：▲145 海外：▲673）

※内、新型コロナウイルスの影響は▲600億円程度と試算
（工場の稼働停止などに伴う生産や出荷遅れの影響を含む）

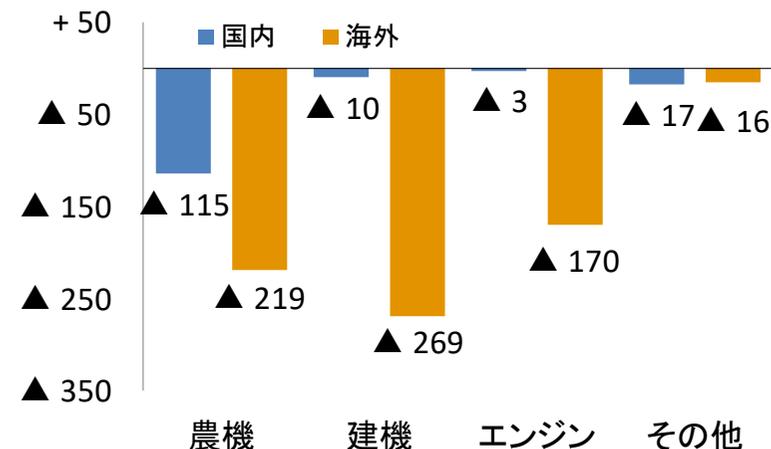
国内

- 農機はトラクタ、作業機ともに減。建機、エンジンも減

海外

- トラクタは北米、欧州、タイで減
- 作業機はタイ、中国、台湾等で増
- 建機は北米、欧州、アジアで大幅減
- エンジンは中国での増によりアジアで増加するも、北米、欧州で大幅減

■ 機械売上増減の内訳（億円）



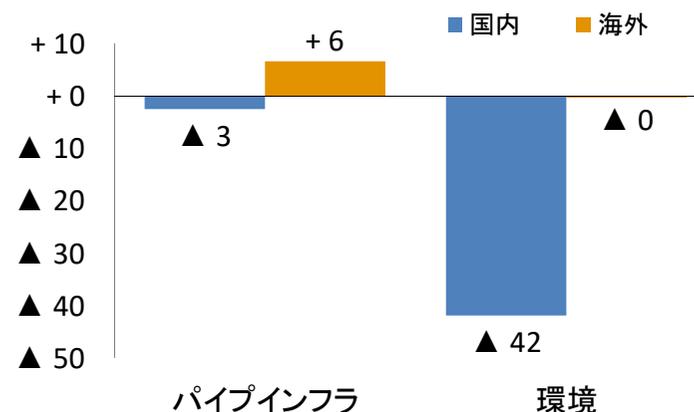
水・環境 ▲38億円（国内：▲44 海外：+6）

※内、新型コロナウイルスの影響は▲40億円程度と試算

- 国内**
- ・パイプインフラは鉄管や工事事業が増加するも、合成管、空調機器、鋼管が減。
 - ・環境は双葉町での廃棄物処理施設の建設による売上などが減

- 海外**
- ・パイプインフラは素形材が増。
 - ・環境はポンプや浄化槽が減少するも、膜システムが増加し前年並み

■水・環境売上増減の内訳（億円）



(億円)	2020年12月期 2Q累計		2019年12月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	817	9.2	1,109	11.4	▲ 293	▲ 26.4

営業利益（▲293億円）の増減要因

1.為替変動	米ドル(110円→108円 ※1) ユーロ(124円→119円 ※1) 他	▲35億円 ▲20億円 ▲25億円	▲80億円
2.為替差損益			+2億円
3.原材料	機械（鋼材・関税・買入部品 他） 水・環境（スクラップ、レジン 他）	+30億円 +15億円	+45億円
4.インセンティブ率変動	北米+18億円 他		+18億円
5.増減販			▲225億円
6.製品値上げ			+40億円
7.その他			▲93億円

※1：但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル112円→109円、ユーロ127円→120円程度

事業セグメント別営業利益

For Earth, For Life
Kubota

(億円)		2020年12月期 2Q累計	2019年12月期 2Q累計	増減
機械	売上高	7,190	8,008	▲ 818
	セグメント利益	871	1,162	▲ 291
	利益率	12.1%	14.5%	▲2.4P
水・環境	売上高	1,503	1,541	▲ 38
	セグメント利益	99	107	▲ 8
	利益率	6.6%	7.0%	▲0.4P
その他	売上高	148	159	▲ 10
	セグメント利益	15	16	▲ 1
	利益率	10.3%	10.2%	+0.1P
全社/消去	セグメント利益	▲ 169	▲ 177	+ 7
計	売上高	8,842	9,708	▲ 867
	営業利益	817	1,109	▲ 293
	利益率	9.2%	11.4%	▲2.2P

*社内組織の変更に伴い、従来「機械部門」に含めていた「空調」を2020年12月期より「水・環境部門」に変更。
この変更に伴い2019年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

税引前利益・四半期利益

(億円)	2020年12月期 2Q累計		2019年12月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
税引前利益	844	9.5	1,146	11.8	▲ 302	▲ 26.4
四半期利益	652	7.4	867	8.9	▲ 216	▲ 24.9

四半期利益の帰属

親会社の所有者	596	6.7	812	8.4	▲ 216	▲ 26.6
非支配持分	56	0.7	55	0.5	+ 0	+ 0.8

(円)		2020年12月期	2019年12月期	増減
1株当たり配当	(中間)	17 円	17 円	±0 円
	(期末)	(未定)	19 円	-
	(通期)	(未定)	36 円	-

<株主還元の基本方針>

配当性向：目標30% 総還元性向：30%超

- ・ 上限200億円(取得期間：2020年4月20日～12月14日)の自己株式取得枠を設定
- ・ 2020年7月31日までに約70億円の自己株式を取得

財政状態計算書（資産）

For Earth, For Life
Kubota

（億円）	2020年12月期 2Q末	2019年12月期 期末	増減	為替を除く 増減
流動資産	17,284	17,189	+ 95	
現金及び現金同等物	2,507	1,997	+ 510	
営業債権	6,568	6,826	▲ 258	▲ 140
金融債権	3,083	2,939	+ 144	
棚卸資産	3,687	3,824	▲ 137	▲ 70
その他	1,439	1,603	▲ 163	
非流動資産	13,995	14,204	▲ 210	
金融債権	7,216	6,992	+ 223	
その他	6,779	7,212	▲ 433	
資産合計	31,279	31,393	▲ 114	
金融債権 計	10,299	9,932	+ 367	+ 650

<ご参考> 海外子会社期末日レート

（円）

米ドル	108	110	▲ 2
ユーロ	121	123	▲ 2

財政状態計算書（負債）

For Earth, For Life
Kubota

（億円）	2020年12月期 2Q末	2019年12月期 期末	増減	為替を除く 増減
流動負債	9,356	10,017	▲ 662	
社債及び借入金	3,646	3,865	▲ 220	
営業債務	2,447	2,938	▲ 491	
その他	3,263	3,214	+ 49	
非流動負債	6,572	6,004	+ 568	
社債及び借入金	5,925	5,164	+ 761	
その他	646	839	▲ 193	
負債合計	15,927	16,021	▲ 94	
有利子負債	9,571	9,030	+ 541	+ 740
DEレシオ（ネット）	0.49	0.49	+ 0.00	
金融を除くDEレシオ（ネット）	▲ 0.19	▲ 0.14	▲ 0.05	

財政状態計算書（資本）

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2020年12月期 2Q末	2019年12月期 期末	増減
親会社の所有者に帰属する持分	14,415	14,428	▲ 13
非支配持分	937	944	▲ 7
資本合計	15,352	15,372	▲ 20
親会社所有者帰属持分比率	46.1%	46.0%	+0.1P

キャッシュ・フロー計算書

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2020年12月期 2Q累計	2019年12月期 2Q累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	495	509	▲ 14
金融債権の増加	▲ 635	▲ 341	▲ 294
その他	1,130	849	+ 280
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 304	▲ 646	+ 342
有形固定資産及び無形資産の取得	▲ 384	▲ 517	+ 133
その他	80	▲ 129	+ 209
財務活動によるキャッシュ・フロー	362	65	+ 297
為替レート変動の現金及び現金同等物に対する影響	▲ 43	▲ 11	▲ 32
現金及び現金同等物の純増減	510	▲ 84	+ 594
フリーキャッシュ・フロー	111	▲ 8	+ 119
フリーキャッシュ・フロー（金融債権の増減を除く）	745	332	+ 413

金融事業の状況 <ご参考（非監査）>

財政状態計算書

(億円)	2020年12月期 2Q末		2019年12月期	
	金融事業	金融事業を除く ベース	金融事業	金融事業を除く ベース
資産合計	12,161	19,518	11,812	20,482
現金及び現金同等物	205	2,301	198	1,798
営業債権	369	6,216	293	6,557
金融債権	10,299	-	9,932	-
棚卸資産	-	3,687	-	3,824
有形固定資産	4	3,926	5	4,049
その他	1,284	3,388	1,384	4,254
負債合計	10,262	5,890	9,965	6,786
有利子負債	9,631	-	9,380	-
その他	632	5,890	584	6,786
資本合計	1,898	13,628	1,847	13,697

損益計算書（金融事業）

(億円)	2020年12月期 2Q累計	2019年12月期 2Q累計	増減	
	金額	金額	金額	%
売上高	380	363	+ 17	+ 4.6
営業利益	39.8% 151	37.1% 135	+ 16	+ 12.2
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	23.9% 91	22.5% 82	+ 9	+ 11.4

機械事業の動向

米国

ディーラーの営業停止は一部に留まり、トラクタ、建機ともに小売は好調。一方で、卸売は一昨年の出荷が昨年の上期にずれ込んだことの影響や、生産・出荷遅れもあり減

トラクタ/小売

小型は主要地域で天候に恵まれたことや、外出規制に伴う巣ごもり特需もあり、増。中型はディーラーの要望が強かった新機種への投入によるシェア拡大もあり、増。大型は市場は横ばいも、シェア拡大により増

建機/小売

新型コロナウイルス感染拡大に伴う先行き不透明感により、レンタル業者は投資への慎重姿勢を継続。一方で当社が得意とする一般小売向けの需要は十分な工事量を背景に増加しているほか、当社のディーラーが所在する郊外地域は新型コロナウイルスの影響が比較的軽微であることも寄与し、MB、CTLが増。SSLは市場の縮小により減

ディーラー在庫

不透明な要素が多いなかで、ディーラー在庫を抑制するという意図はあるものの、春需要期の小売が想定を大幅に上回ったことや、工場の一時稼働停止による生産・出荷の遅れなどによりディーラー在庫は4.7カ月（前期末比▲1.8カ月、前年同期比▲1.3カ月）まで低下。卸売のキャッチアップが徐々に進むことにより当期末には5.3カ月（前期末比▲1.2カ月）程度に回復する見込み

エンジン/卸売

新型コロナウイルス感染拡大を受けたOEM先の生産停止等により減

機械事業の動向（米国） – 補足データ

■ トラクタ市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2019年	0-40馬力	+ 9.7%	+ 4.9%	+ 6.4%	▲ 0.1%	+ 6.4%	+ 5.0%
	40-120馬力	▲ 0.8%	▲ 0.2%	+ 7.2%	▲ 4.1%	▲ 0.4%	+ 0.5%
	120-160馬力	▲ 5.7%	+ 2.3%	+ 16.6%	▲ 0.4%	▲ 1.0%	+ 3.3%
2020年	0-40馬力	▲ 8.9%	+ 24.0%	-	-	+ 13.3%	-
	40-120馬力	▲ 5.1%	+ 13.9%	-	-	+ 6.5%	-
	120-160馬力	▲ 14.1%	+ 9.2%	-	-	▲ 0.1%	-

出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ 0-8tバックホー市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2019年		+ 2.7%	+ 7.4%	+ 11.0%	+ 25.0%	+ 5.6%	+ 11.7%
2020年		+ 4.5%	▲ 4.4%	-	-	▲ 1.0%	-

出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ コンパクトトラックローダ市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2019年		+ 4.6%	+ 6.4%	+ 9.9%	+ 9.2%	+ 5.7%	+ 7.7%
2020年		+ 2.2%	▲ 0.1%	-	-	+ 0.8%	-

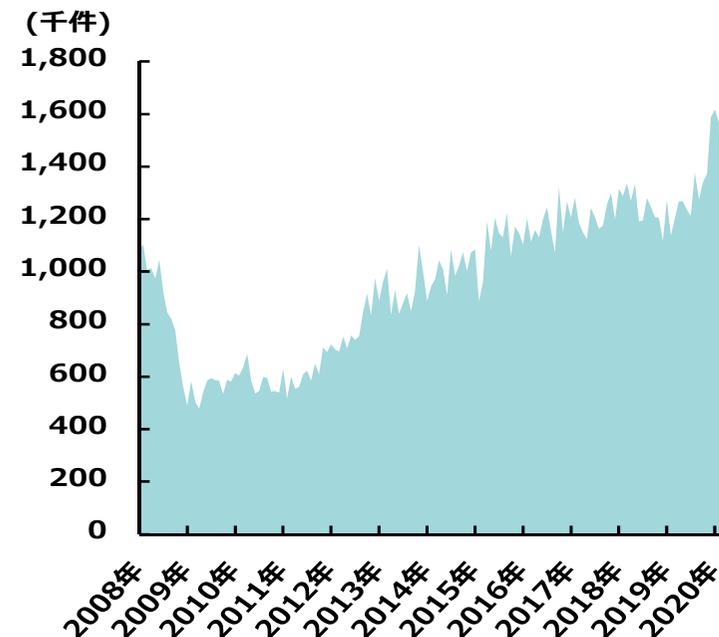
出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ スキッドステアローダ市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2019年		▲ 8.9%	▲ 9.1%	▲ 14.0%	▲ 1.2%	▲ 9.0%	▲ 7.4%
2020年		▲ 10.9%	▲ 23.6%	-	-	▲ 18.0%	-

出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ 米国住宅着工件数（季節調整済・年率換算）



出典：米国国勢調査局（U.S. Census Bureau）

欧州

足元では経済活動の再開に伴い回復基調にあるが、多くのディーラーがロックダウンにより営業活動を停止したため、小売、卸売ともに大幅減

トラクタ/小売

小型はロックダウンによるディーラーの営業停止などにより、春需要を取り込めず大幅減。
大型は新型コロナウイルス感染拡大に伴う外食産業の停滞を受け、農業市場の先行き不透明感が高まったことにより減

インプラント/卸売

大型トラクタ同様、農業市場の先行き不透明感などにより減

建機/小売

経済活動の再開に伴い、市場は徐々に回復傾向にはあるものの、外出制限に伴う建設工事の停滞や、景気の先行き不透明感を受けたコントラクタの投資意欲減退により減

エンジン/卸売

新型コロナウイルス感染拡大に伴うOEM先の生産停止や減産を受け、大幅減

タイ・ 周辺国

雨季の降雨により足元では徐々に水不足が改善するも、年前半の水不足によりトラクタの小売は減。昨年末の小売低迷により増加したディーラー在庫の調整を実施したことにより、卸売は大幅減

トラクタ/小売

稲作向けは、もち米やジャスミン米価格の高位安定を背景に増。畑作向けは、水不足による収量低下やシュガーケーン価格の下落などにより減少し、トラクタ全体では減。卸売を抑制し在庫調整を実施したことにより、タイ国内のディーラー在庫は前期末比▲1.1カ月まで低下

コンバイン/小売

米価の高位安定により大幅増

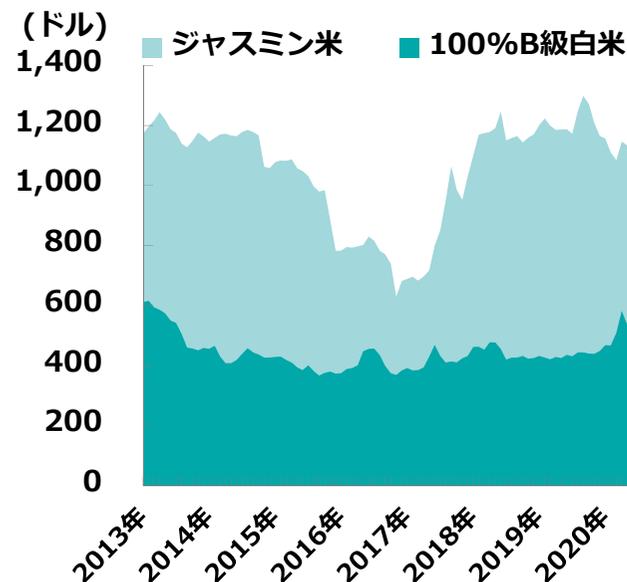
建機/小売

新型コロナウイルス感染拡大による建設工事の停滞により減

周辺国/小売

カンボジアは、キャッサバなどの畑作向け需要の拡大を背景に増。
ミャンマーは、販売低迷の原因であった米ドルに対する現地通貨安が徐々に緩和されてきたことや、金利の低下により増

■タイ米輸出価格推移 ドル/トン



出典：米国農務省、タイ米輸出協会

中国

中央政府農機購入補助金は未確定も前年並みから微減の見込み。
 農機市場は第2四半期以降、新型コロナウイルス感染拡大に伴う低迷から徐々に回復。

建機、エンジンも4月以降需要が急回復するも、建機の競争は激化

トラクタ/小売

高馬力化の進展により、当社が参入している70-99馬力の市場は拡大しているものの、操業停止による供給遅れなどにより減

コンバイン/小売

汎用コンバインの市場は減少するも、馬力や処理量をアップした新製品投入効果により、当社の小売は前年並み

田植機/小売

操業停止による供給遅れの影響はあったものの、乗用田植機向けの追加補助金により乗用田植機は増

建機/小売

政府の景気刺激策や経済活動の再開により市場は拡大しているものの、主に5t機以上でのローカルメーカーおよび外資メーカーの価格攻勢により減

エンジン/卸売

政府の景気刺激策により、建産機向けが好調

■ 中国 中央政府農機購入補助金推移

		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
補助金(億円)	第1次	-	110	130	200	170	210	228	186	186	180	未確定
	年間計	155	175	215	218	238	238	237	186	186	180	未確定

日本

農機は昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動減や、新型コロナウイルス感染拡大に伴う販売活動の自粛などにより減。建機・エンジンについても建産機需要の減少に伴い減

農機/小売

昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動減に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大規模な展示会などの販売活動を自粛したことや、外食産業向けの農産物需要の減少などにより需要が減少したため、トラクタ、コンバイン、田植機の3機種ともに減

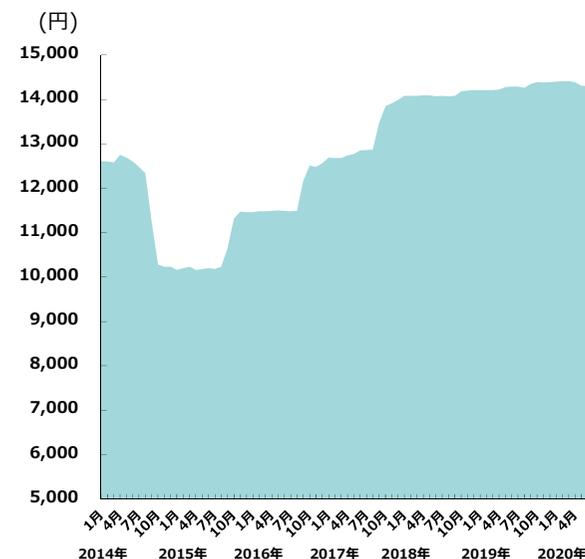
建機/小売

昨年の消費増税や優遇税制の締め切り前の駆け込み需要の反動減に加え、新型コロナウイルス感染拡大による建設工事の停滞などにより減

エンジン/卸売

新型コロナウイルス感染拡大に伴うOEM先の減産や、最終製品である建産機の需要減少などにより減

■ 日本米の生産者価格推移 円/60kg



出典：農林水産省「農業物価統計調査」

業績予想

2020年12月期業績予想

For Earth, For Life


(億円)	2020年12月期	2019年12月期	増減	
	(予想)	(実績)	金額	%
売上高	17,800	19,200	▲ 1,400	▲ 7.3
国内	5,855	6,254	▲ 399	▲ 6.4
海外	11,945	12,946	▲ 1,001	▲ 7.7
営業利益	8.4% 1,500	10.5% 2,017	▲ 517	▲ 25.6
税引前利益	8.7% 1,550	10.9% 2,090	▲ 540	▲ 25.8
親会社の所有者に帰属する 当期利益	6.2% 1,100	7.8% 1,491	▲ 391	▲ 26.2

事業セグメント別売上高予想

For Earth, For Life


(億円)	2020年12月期 (予想)	2019年12月期 (実績)	増減	
			金額	%
機械	14,300	15,583	▲ 1,283	▲ 8.2
国内	2,800	3,063	▲ 263	▲ 8.6
海外	11,500	12,520	▲ 1,020	▲ 8.1
水・環境	3,200	3,301	▲ 101	▲ 3.0
国内	2,760	2,878	▲ 118	▲ 4.1
海外	440	423	17	+ 4.1
その他	300	316	▲ 16	▲ 5.2
国内	295	312	▲ 17	▲ 5.6
海外	5	4	+ 1	+ 23.5
売上高合計	17,800	19,200	▲ 1,400	▲ 7.3

国内売上高	5,855	6,254	▲ 399	▲ 6.4
海外売上高	11,945	12,946	▲ 1,001	▲ 7.7

- ・ 為替の影響(▲280億円)を除くと、機械海外は▲6%の減。海外売上全体は▲6%の減
- ・ 新型コロナウイルスの影響は機械▲1,480億円、水・環境▲100億円程度と想定
(工場の稼働停止などに伴う生産や出荷遅れの影響を含む)

*社内組織の変更に伴い、従来「機械部門」に含めていた「空調」を2020年12月期より「水・環境部門」に変更。
 この変更に伴い2019年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

(億円)	2020年12月期 (予想)		2019年12月期 (実績)		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	1,500	8.4	2,017	10.5	▲ 517	▲ 25.6

営業利益 (▲517億円) の増減要因

1.為替変動	米ドル(109円→107円 ※1) ユーロ(122円→120円 ※1) 他	▲55億円 ▲25億円 ▲40億円	▲120億円
2.為替差損益			▲16億円
3.原材料	機械(鋼材・関税・買入部品 他) 水・環境(スクラップ、レジン 他)	+30億円 +30億円	+60億円
4.インセンティブ率変動	北米+56億円 他		+36億円
5.増減販			▲370億円
6.製品値上げ			+60億円
7.その他			▲167億円

※1：但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル110円→108円、ユーロ124円→120円程度

事業セグメント別営業利益予想

For Earth, For Life
Kubota

(億円)		2020年12月期 (予想)	2019年12月期 (実績)	増減
機械	売上高	14,300	15,583	▲ 1,283
	セグメント利益	1,540	2,031	▲ 491
	利益率	10.8%	13.0%	▲ 2.3P
水・環境	売上高	3,200	3,301	▲ 101
	セグメント利益	270	281	▲ 11
	利益率	8.4%	8.5%	▲ 0.1P
その他	売上高	300	316	▲ 16
	セグメント利益	30	36	▲ 6
	利益率	10.0%	11.4%	▲ 1.4P
全社/消去	セグメント利益	▲ 340	▲ 332	▲ 8
計	売上高	17,800	19,200	▲ 1,400
	営業利益	1,500	2,017	▲ 517
	利益率	8.4%	10.5%	▲ 2.1P

*社内組織の変更に伴い、従来「機械部門」に含めていた「空調」を2020年12月期より「水・環境部門」に変更。
この変更に伴い2019年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

■ 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	2020年12月期		2019年12月期 (実績)
	(今回見直し)	(期初予想)	
設備投資*	850	1,150	867
減価償却費*	540	560	489
研究開発費	590	590	531

* : IFRS第16号「リース」の適用に伴う使用权資産の計上及び使用权資産に係る減価償却費は含まない

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。



ご清聴ありがとうございました。

For Earth, For Life
Kubota